



あこう通信 ～「いい顔 いい声 いい心」～



発行：令和5年6月12日（月）NO.7 文責：副校長 津田 幸一

学校HP URL <http://www.nagasaki-city.ed.jp/kosakaki-e/index.html> （2次元コードからどうぞ）

「いじめ」をなくすには

いじめは学校最大の危機事案のひとつです。なぜなら、いじめは、被害児童の生きたいという思いを時間をかけて少しずつ削り取っていく、子どもの命に係わるものであるからです。けんかの解決は子ども同士で十分できますが、いじめはそうはいきません。教員が適切にかかわり、家庭とも連携しながら、組織的に対応していく必要があると考えます。それは、根本的な解決には被害と加害の関係児童だけの指導で済むものではないからです。当事者の指導後に、しっかりとした全体指導～自分事として集団全体に考えさせること～を行うことが肝であると思います。いじめの構造は「4層」であるといわれます。下の図は、そのイメージです。いじめを根本からなくそうとするとき、この構造を理解して臨む必要があります。直接に関わらなくとも心理的にいじめに賛同している「観衆」。いじめの存在に気づいているが、見て見ぬふりの態度をとっている「傍観者」。この両者を、いじめを積極的に止めようとする「仲裁者」に変容させること。そのための指導こそが重要です。いじめ対応はチームで！これを共通理解しています。今月は「小柗っ子の心を見つめる教育週間」です。学校を挙げて、命の大切さについてしっかりと学習します。ぜひ御家庭でも、「いじめをなくすにはどうすればいいのか」について話し合ってください。



令和2年度「全国いじめ問題子供サミット」資料より

小川 健吾 先生 着任

6月1日（木）より、新しく特別支援教育支援員の先生が加わりました。小川先生は、3月まで中学校の体育科を担当されていて、体を動かすことがとても大好きな方です。



よろしくお願いたします。

5月全校集会 「そろえる」



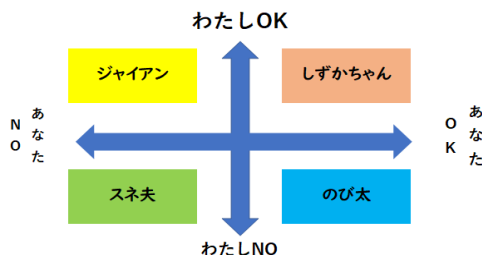
5月31日（水）の集会の様子です。約700名が体育館に一堂に会するのですが、集合にはある程度の時間を要します。



上の写真は、早く入った学級の後から撮影しました。姿勢を意識して静かにまっています。おかげで、後からくる学級も「はっ」と気づいてこれに倣っています。「そろえる」ことができるすばらしさを感じます。

生活講話は、5年生主任の藤田祐利先生からでした。梅雨時の校内の過ごし方についてです。6月は「はさみ歩き」をそろえていきます！

★みんなちがってみんないい！



「わたしOK」＝自己肯定感
「あなたOK」＝他者受容感

左の図は、いろんな本に載っています。『ドラえもん』の主要なキャラクターの分析図です。見事に分かれています。よく、「しずかちゃんを目指そう！」という主旨で用いられるものですが、今回はそうではありません。「みんなちがって、みんないい」という話です。

例えば、「ジャイアン」。周囲の気持ちはお構いなしで、公園でコンサートを開けるくらい自己中心的な彼ですが、いざというときには、実に頼りになります。「のび太」は、自分に自信がなく、友達づきあいにも臆病ですが、友達のことをとても大切にできる子です。みんなが「しずかちゃん」でなくていいのです。それぞれに自分らしさがあり、それ自体に良さがあるのです。お互いに「らしさ」を認め合うことが大切です。「映画スタンドバイミー」の一場面。のび太と結婚する前夜に、マリッジブルーのしずかちゃんにかけたお父さんの一言は、まさにそのことを表しています。

「のび太くんを信じなさい。あの青年は決して目立った取り柄があるわけじゃない。しかし、人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことが出来る。それが人間にとって一番大切なことなんだからね。彼なら間違いなく君を幸せにしてくれると、ぼくは信じているよ。そして そんな彼を選んだ、きみを誇りに思っている。」

教育週間にちなんだ